

研究協力をお願い

このたび、当科で乳癌手術を受けられた患者さんの診療情報を用いた下記研究を実施しますので、ご協力をお願い致します。実施の際には、倫理委員会の承認ならびに病院長の許可の元、倫理指針及び法令を遵守して行います。

【研究課題名】

当院で手術を行った被包型乳頭癌の検討

【研究の目的】

乳癌の場合、臨床病期（ステージ）を決定する重要な項目のひとつにしこりの大きさがあります。通常大きさと病期の進行度は比例しますが、内部に液体を含む嚢胞性腫瘍の場合は例外があります。しこりの増大の原因が液体成分の増加である場合には、大きさにかかわらず術後に早期癌と診断されることがあり、その場合の予後は良好です。嚢胞性腫瘍の形をしめす組織型はいくつかありますが、最新の乳癌取り扱い規約（第18版）で被包型乳頭癌という亜型が初めて記載されました。この組織型は、全乳癌症例の0.5-1%と少なく、病態の解明がまだ進んでいません。そのため、当院で手術を行った方のうち、被包型乳頭癌と診断された方の画像所見や病理結果などを検討し、新たな知見を得ることを目的に研究を行います。

【研究の方法・対象】

対象となる方：2020年1月1日～2023年11月30日に当科で乳癌手術を受けた方のうち、被包型乳頭癌と診断された方。

利用するカルテ情報：年齢、性別、画像検査結果、病理診断結果、術後治療内容などの臨床情報

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

【研究期間】

承認日から2024年7月31日

【個人情報の取り扱い】

研究対象の患者さんの個人情報に関して、お名前や住所など、個人を特定できる情報が明らかになることはありません。カルテから抽出したデータは、個人が特定できない形で使用します。また、研究成果は関連学会または医学研究雑誌での発表を予定していますが、その際にも個人が特定できるような情報の公開はありません。今回得られたデータ類は、研究終了5年後に復元できない形で破棄します。

【利益相反】

本研究の計画、実施、発表に関して開示すべき利益相反はありません

【連絡先】

本研究に関するお問い合わせは下記へご連絡ください。本研究の対象となる方またはその代理人より、診療情報の利用停止のお申し出があった場合には適切な措置を行いますので、その場合も下記までご連絡ください。研究に協力しないことにより不利益な取り扱いを受けることはありません。ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので申し出ください。

社会医療法人 J M A 海老名総合病院
神奈川県海老名市河原口1320
代表番号；046-233-1311
研究責任者：乳腺外科 敦賀 智子